

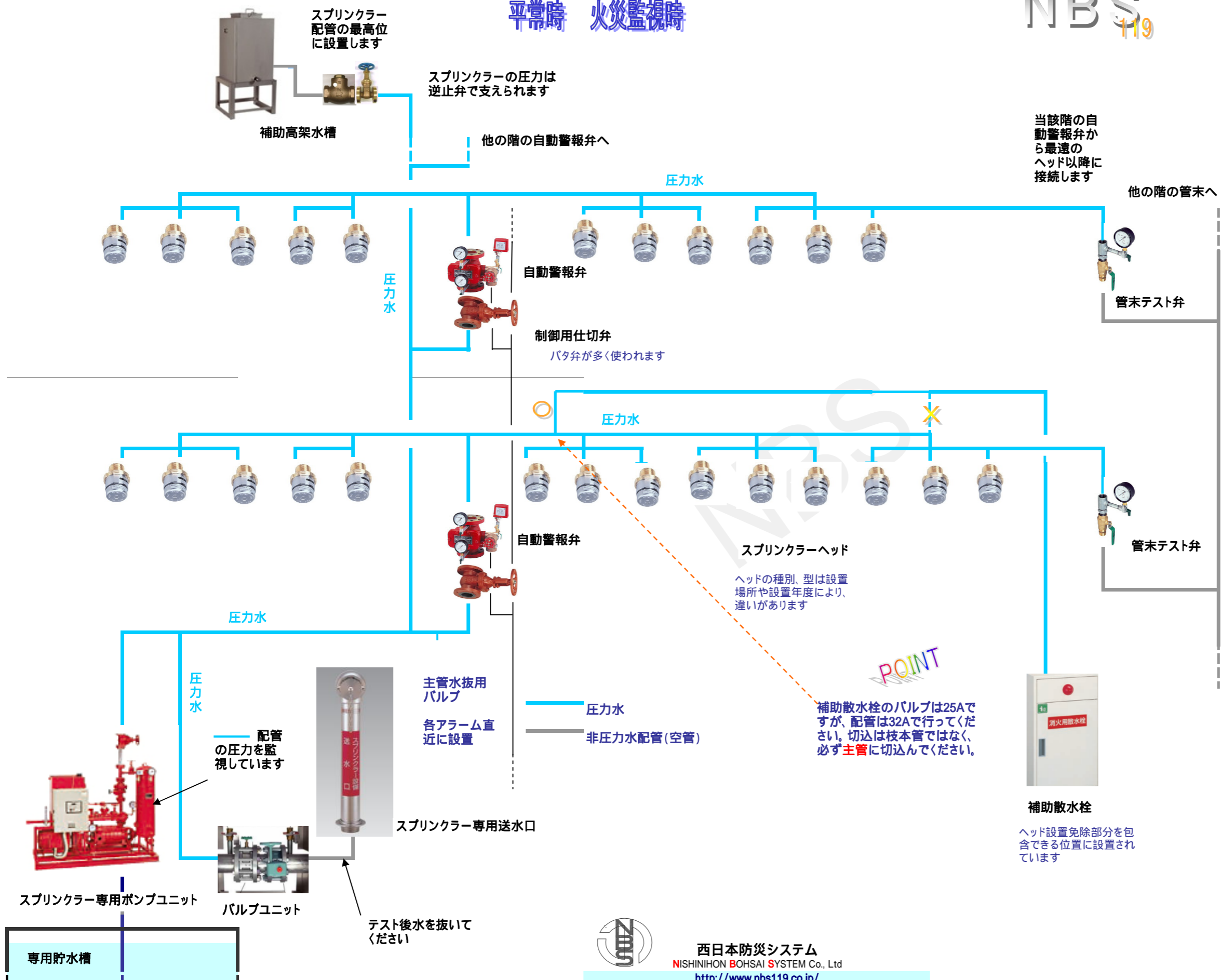
スプリンクラー消火設備

- 西日本防災システム

弊社スプリンクラー消火設備に係る
技術基準によります



平常時 火災監視時

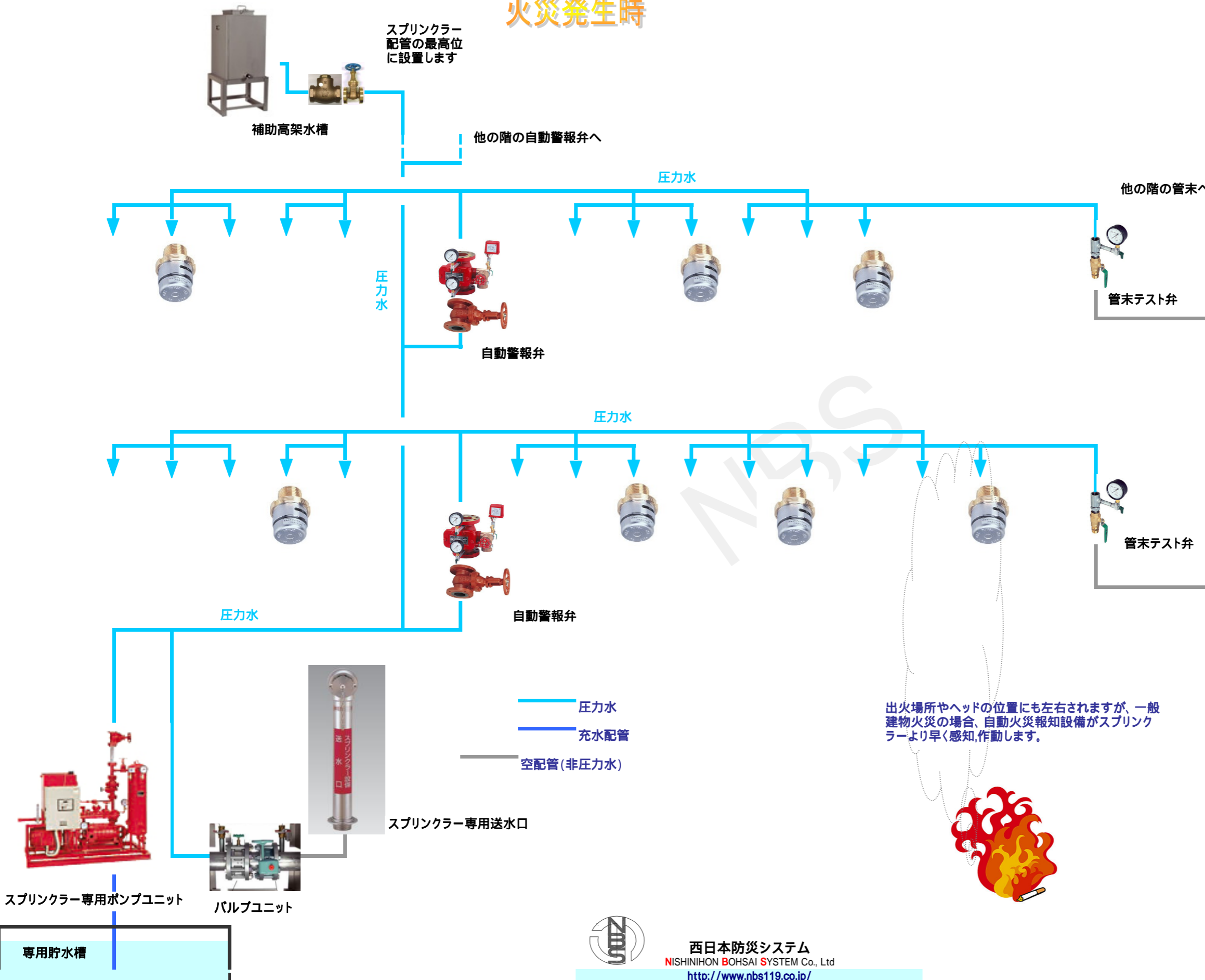


スプリンクラー消火設備

- 西日本防災システム

弊社スプリンクラー消火設備に係る
技術基準によります

火災発生時

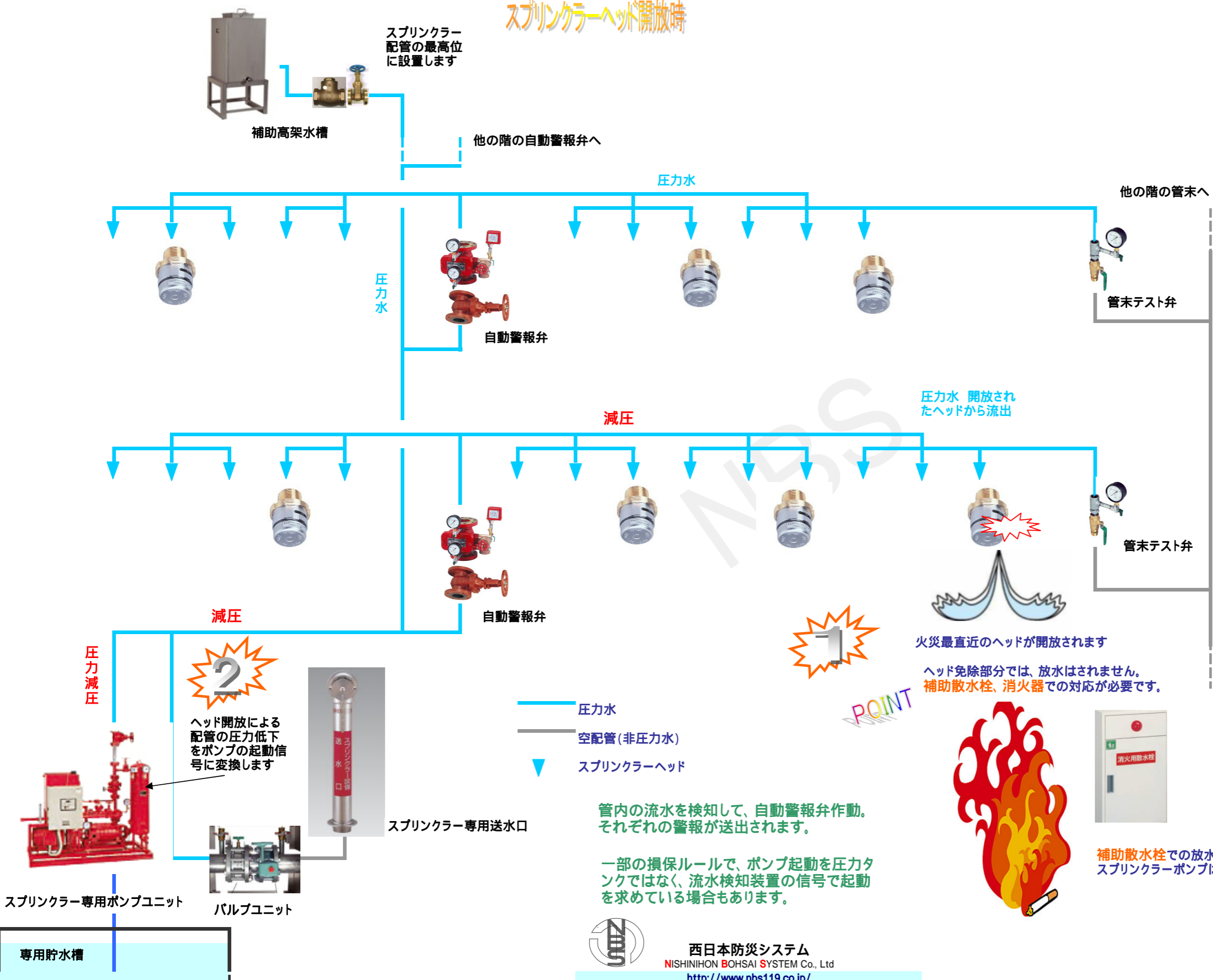


スプリンクラー消火設備

- 西日本防災システム

弊社スプリンクラー消火設備に係る
技術基準によります

スプリンクラーヘッド開放時



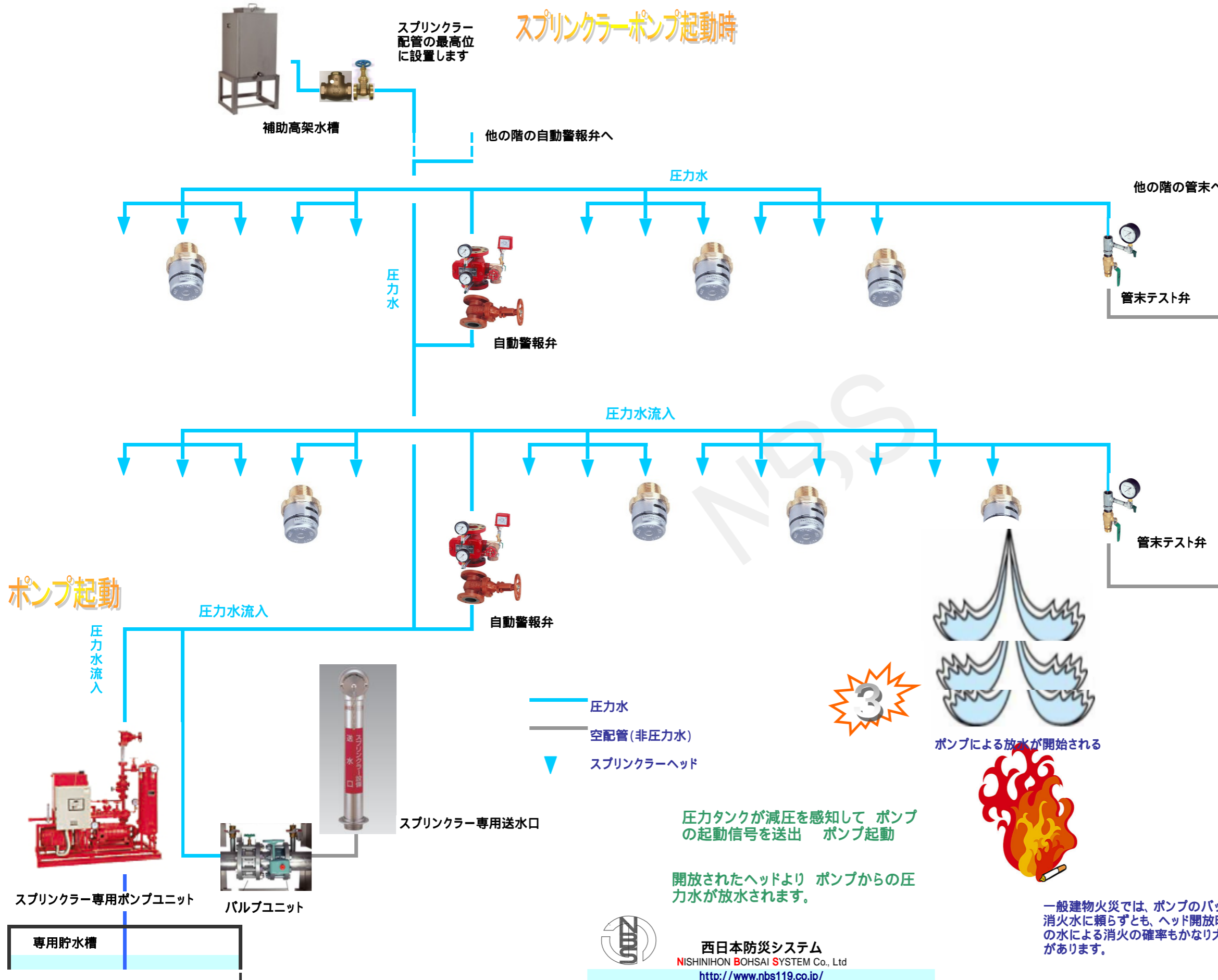
西日本防災システム
NISHINOHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd
<http://www.nbs119.co.jp/>



スプリンクラー消火設備

- 西日本防災システム

弊社スプリンクラー消火設備に係る技術基準によります



スプリンクラーヘッドの放水量
POINT

建物竣工時の消防検査で行う仮設の同時放水テストをご覧になったかたはご存知だと思いますが、とんでもない想像以上の量が放水されます。
消防法の規定では80 /min以上です！

一般建物火災では、ポンプのバックアップの消火水に頼らずとも、ヘッド開放時の配管内の水による消火の確率もかなり大きいものがあります。



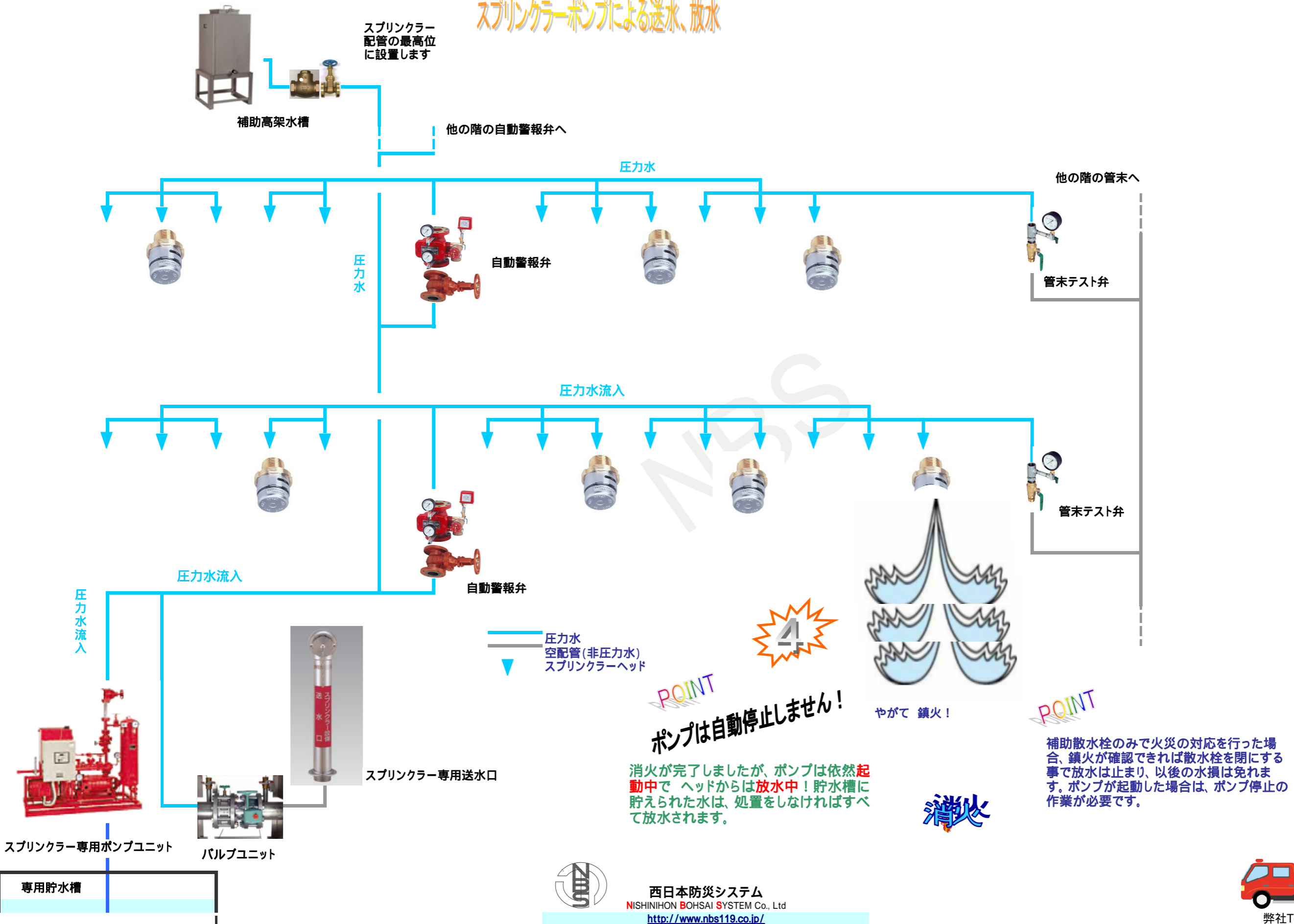
弊社Top Pageへ

スプリンクラー消火設備

- 西日本防災システム

弊社スプリンクラー消火設備に係る
技術基準によります

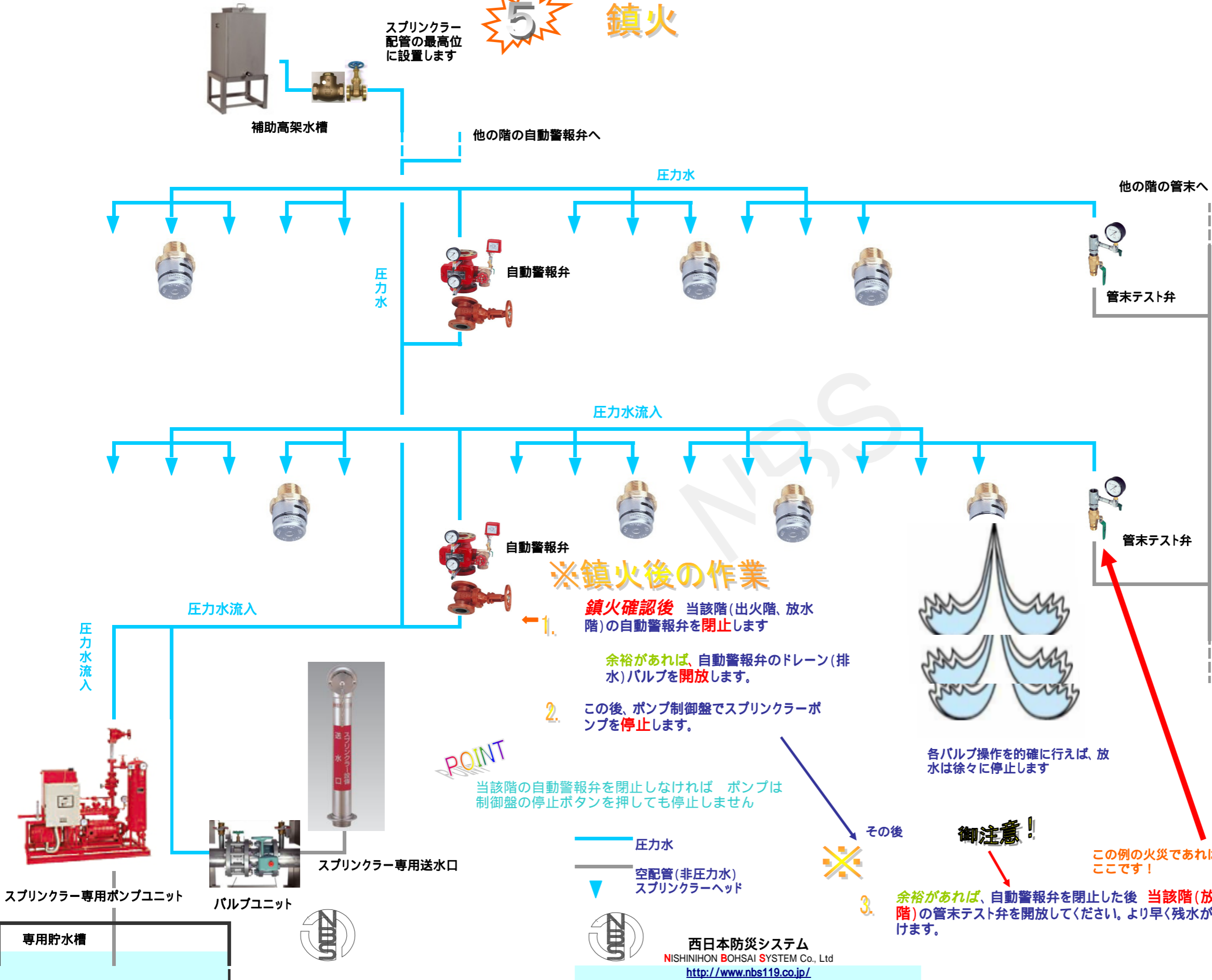
スプリンクラーポンプによる送水、放水



スプリンクラー消火設備

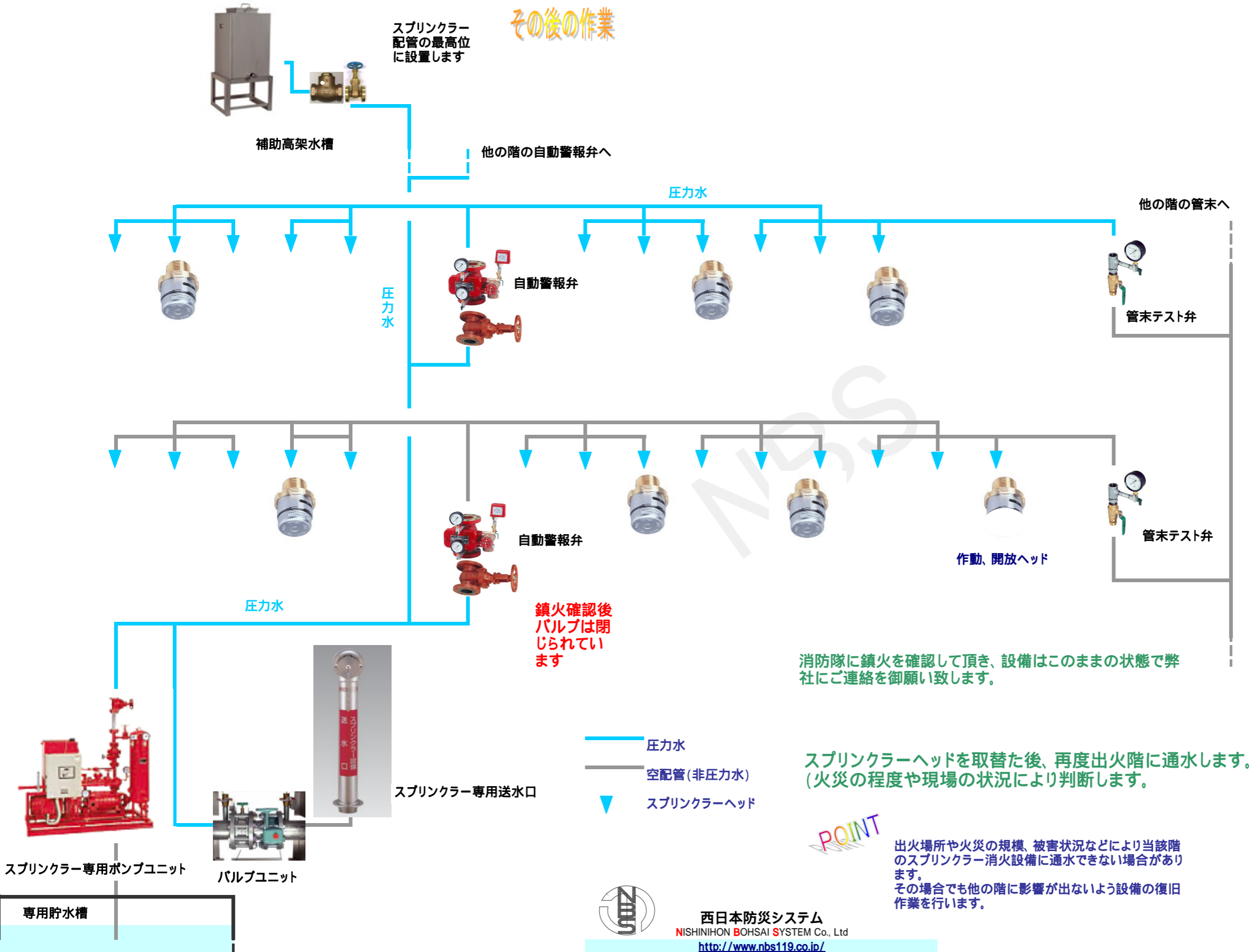
- 西日本防災システム

5 鎮火



スプリンクラー消火設備

- 西日本防災システム



スプリンクラー消火設備

- 西日本防災システム



自動警報弁を閉止した後、ポンプ制御盤でポンプ停止の作業をしたにも拘らず、ポンプが停止しない場合があります。

ポンプ運転中に、圧力タンクの圧力を確認してください。締切圧力まで上昇し、ポンプ停止後圧力が低下する場合は、いずれかの場所で配管が開放されている部分があります。もう一度現場を確認してください。
他の自動警報弁の作動信号などが出ていませんか？

以下のバルブの閉を確認してください

当該階(出火階)の自動警報弁はしっかり閉まっていますか？
出火階以外の自動警報弁作動信号が出ている場合は、その階の各バルブ(アラーム、管末)を点検してください。
その他ポンプ周り、圧力タンク周辺の配管、バルブ全てチェックしてください。



ポンプ制御盤でのスイッチOFFによる停止ができない場合、又は弊社の担当が10分以内に処理にお伺いできない場合は、**周囲の安全と火元確認**をしっかりと頂き、スプリンクラーポンプ制御盤内のブレーカーを断にして、ポンプを停止してください。

ポンプを**無負荷**で長時間回し続けると、焼け付きなどを招きポンプに**損傷**を与える恐れがあります。



出火場所にスプリンクラーヘッドが設置されていない場合、自動放水はできません！

[スプリンクラーヘッド免除部分](#) [に関する資料](#) ➡

設置を免除された部分にはヘッドはありません。ですから ” この建物にはスプリンクラーが付いてるから絶対大丈夫だ！ ”

なんて思わないでください。一度対象物内の天井を見ながら確認するのも 良いかも！

POINT もし スプリンクラーが無い場所を見つけたら、その周辺を見てください。



こんな **補助散水栓** と表示がある箱があります。この中のホースを延ばして消火活動開始！



西日本防災システム
NISHINOHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd
<http://www.nbs119.co.jp/>

